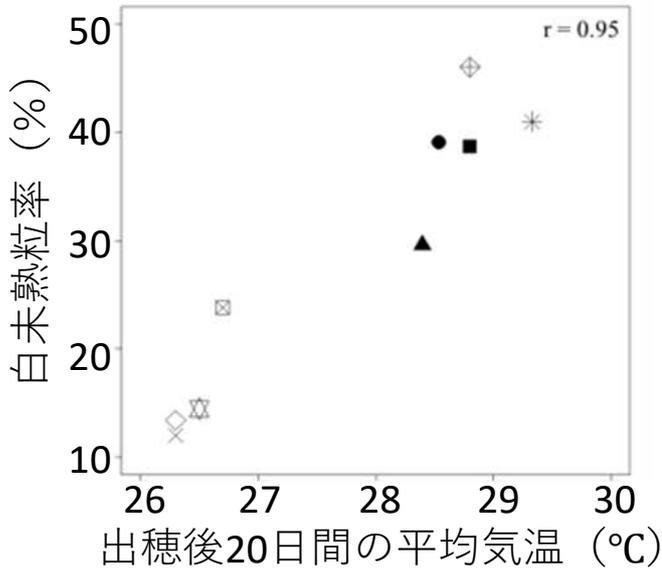


高温障害を避けるために、 移植時期を遅らせてみませんか？

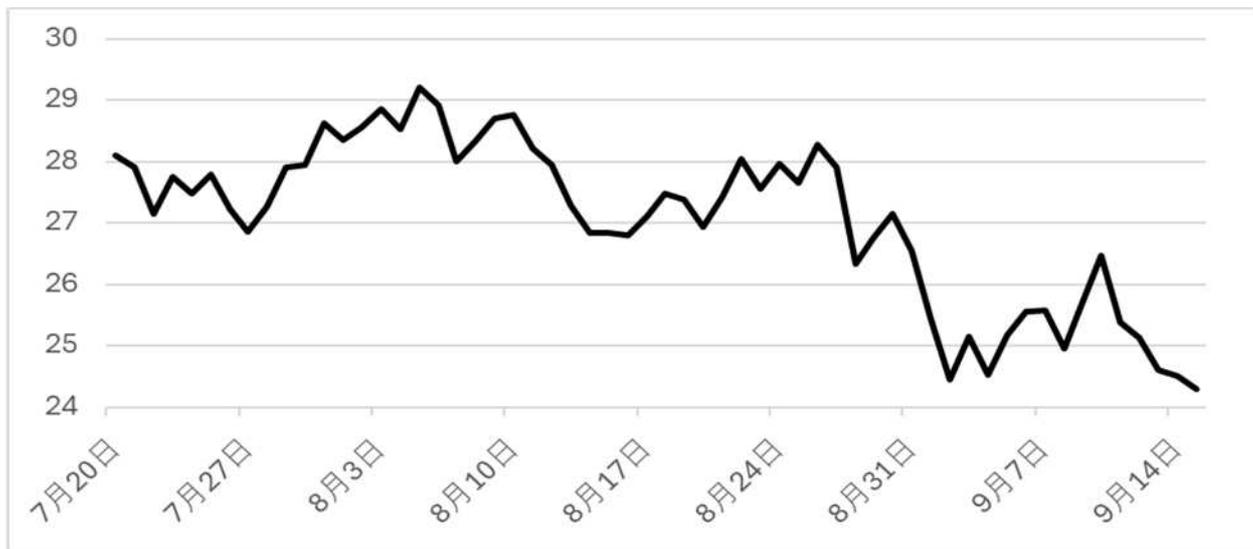
彩のかがやきの出穂後
日平均気温と白未熟粒発生の関係



Tanno 2021 Agron. J. 113: 3434-3443 より (一部改変)

近年は高温で、白未熟粒（俗に言うシラタ）が多発しています。白未熟粒は出穂後20日間の平均気温が26℃を超え始めると発生し、左図のように登熟期間が高温になるほど多発します。キヌヒカリや彩のかがやきは高温登熟性があまり強くないため、品質を確保するにはなるべく気温の低い時期に出穂させる必要があります。

熊谷市中曽根 直近10年間の日平均気温 (°C)



農研機構メッシュ農業気象データを用いて作成

上図は熊谷市中曽根の直近10年の日平均気温推移、右表は移植時期別の出穂後平均気温です。年にもよりますが**移植時期を遅らせることで高温を回避できる傾向**にあります。大規模経営では作業都合上難しい面あるかとは思いますが、**高温に弱い品種**だけでも移植の後ろ倒しをご検討ください。

	移植	推定出穂期	出穂後20日間の平均気温(°C)
キヌヒカリ	5/30	8/5	27.8
	6/10	8/11	27.4
	6/20	8/16	26.8
	6/30	8/22	26.4
彩のかがやき	5/30	8/16	26.8
	6/10	8/20	26.5
	6/20	8/23	26.2
	6/30	8/26	25.8

2026年2月 大里農林振興センター
農業支援部 (048-526-2210)